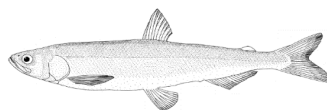


# 23. シシャモ

主な漁業と漁期  
ししゃもこぎ網：10～11月  
刺し網：5～11月



## 道南太平洋海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

北海道太平洋岸の水深120m以浅に分布し、ほとんどがふ化後2年未満で成熟し、10～11月に河川に遡上して産卵します。オスは産卵に加わった後に死亡しますが、メスは川を下り海へ戻ります。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は10月下旬～11月中旬です。
- ◎主な産卵場は鶴川、沙流川です。沙流川では、主に河口から1.9～2.4kmの砂地の川底に形成されます。

※産卵期近くになると雌雄共に急激に成熟し、メスの卵巣の重量が体重の約4分の1になると遡上します。産卵は一对の雌雄で行われ、産卵数は1万粒前後です。

#### ◆成長・成熟

(10月時点)

	体長(cm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
0歳	7		4	
1歳	14	13	36	25
2歳	15	14	40	33

\*) 2001～2015年の漁獲物測定資料より

\*) 加齢の基準日：4月1日

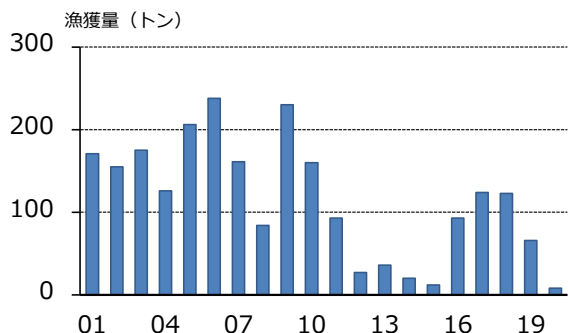
- ◎成熟年齢
  - ・オス：1歳で大部分の個体が成熟しますが、一部2歳になってから成熟する個体もいます。
  - ・メス：1歳でほとんどの個体が成熟します。
- ※2014、2015年度の0歳は、すでに一部が成熟していました。

### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[資源水準の指標] ししゃもこぎ網CPUE

2020年度の漁獲量は8トンで、前年と比べ減少し、自主休漁期間を除いた過去最低を更新しました。資源水準は低水準、翌年にかけての資源動向は、横ばいと判断されました。2015年度以降、遡上親魚量はほぼ確保されていましたが、2020年は26万尾と、目標の60万尾を下回りました。遡上親魚尾数の確保のためには、これまで度々行われてきた、漁の自主的な早期切り上げが望まれます。



2020年度  
の水準



低水準

2021年度  
の動向

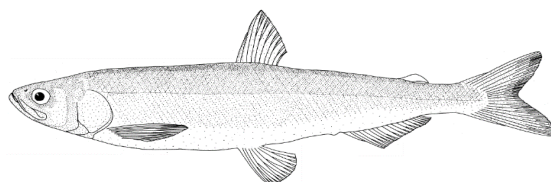


横ばい

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- えりも以西海域ししゃも漁業振興協議会
  - ・休漁後の1995年以降、ししゃもこぎ網の着業隻数を自主的に3割削減しています。
  - ・河川への遡上予測に基づく操業の切り上げによる産卵親魚の確保が図られています。
  - ・当歳魚の保護を目的とした改良漁具が使用されています。



☆現状の措置を継続することが重要です。また、資源状態が悪いと判断された場合、親魚量の確保のため、早期に漁を切り上げる仕組み作りが必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0143-22-2327